

国際社会学部

歴史学（南アジア〔インド〕地域研究）

Modern South Asian Studies / Contemporary India Studies

「歴史」は、歴史を研究する学問である。歴史学は、過去の出来事や出来事の原因、結果、影響などを明らかにし、人類の発展や文化の形成に貢献する学問である。歴史学は、考古学、文献学、言語学、人類学、地理学、社会学などと密接な関係がある。歴史学は、過去の出来事や出来事の原因、結果、影響などを明らかにし、人類の発展や文化の形成に貢献する学問である。

歴史学は、過去の出来事や出来事の原因、結果、影響などを明らかにし、人類の発展や文化の形成に貢献する学問である。歴史学は、考古学、文献学、言語学、人類学、地理学、社会学などと密接な関係がある。歴史学は、過去の出来事や出来事の原因、結果、影響などを明らかにし、人類の発展や文化の形成に貢献する学問である。

歴史学は、過去の出来事や出来事の原因、結果、影響などを明らかにし、人類の発展や文化の形成に貢献する学問である。歴史学は、考古学、文献学、言語学、人類学、地理学、社会学などと密接な関係がある。歴史学は、過去の出来事や出来事の原因、結果、影響などを明らかにし、人類の発展や文化の形成に貢献する学問である。

どのような学問か

インド（南アジア）地域社会のさまざまな事象について、南アジア固有の特殊性と地球規模での普遍性を絶えず往還しながら学際的な研究を行っていきます。東京外国語大学では、時間と空間の両軸から立体的なインド（南アジア）地域研究を行っています。時間を縦軸として、インド（南アジア）近現代史を事例として南アジア地域の形成過程と地域社会の構造について研究するとともに、空間を横軸として、植民地主義、宗派主義、多言語・多文化主義、ジェンダー、国際政治、環境、公衆衛生、教育、経済開発など、現代社会が抱える諸課題を読み解いていきます。

外大の歴史学（南アジア・インド地域研究）

本学の南アジア（インド）地域研究は1908年の東洋語速成科でのヒンドスターニー語の教授に遡ります。現在では、インドの連邦公用語として卓越した地位にある「ヒンディー語」、パキスタンの民族語・国民語でもある「ウルドゥー語」、バングラデシュの国家語である「ベンガル語」の三専攻語が設けられ、英語のみならず南アジアの諸言語を用いて人々や文献と対話しながら研究を行うことが出来るのが、外大の南アジア地域研究の強みです。

インドについては、国内最大の母語話者数を擁するヒンディー語圏を中心に、諸地域の歴史と社会についての研究が行われています。附属図書館には世界でも有数の約20,000点のヒンディー語資料が所蔵されています。また隣接領域として、パキスタン・アフガニスタンなどの南アジアのイスラーム世界を中心とする歴史学・地域研究、やベンガル語圏（インド西ベンガル州・バングラデシュ）を中心とする地理学・環境保全論についても学ぶことが出来ます。

関連する授業一覧（2023年度）

世界教養プログラム

- 南アジア地域基礎（近代南アジア研究入門/現代インド研究入門）
- 南アジア地域基礎（南アジア・イスラーム史）
- 南アジア地域基礎（ベンガル地域研究入門）

国際社会学部専門科目

- インド・パーキスタン分離独立論：歴史と記録
- インド・パーキスタン分離独立論：動乱の記憶
- アフガニスタン・パキスタン近現代政治社会史
- 近現代南アジア研究(1)－インド社会論と歴史学の射程－
- 近現代南アジア研究(2)－インド系移民・市民と多文化社会－

言語文化学部開講科目 ※国際社会学部生は「関連科目」として履修

- インド文学基礎・インド仏教思想基礎・ベンガル文化文学基礎

言語科目

- ヒンディー語（専攻言語）ウルドゥー語（専攻言語）・ベンガル語（専攻言語）
- タミル語・スィンディー語・サンスクリット語・パーリ語など

ゼミ

- 足立享祐ゼミ（インド・ヒンディー語圏）
- 登利谷正人ゼミ（パキスタン・アフガニスタン・ウルドゥー語圏）
- 東城文柄（バングラデシュ・ベンガル語圏）

関連する学問分野

- 歴史学
- 社会学
- 人類学
- 経済学
- 地理学

おススメの本

- R.グハ（佐藤宏訳）『インド現代史』、明石書店、2012。
- U.ブターリア（藤岡恵美子訳）『沈黙の向こう側』、明石書店、2002。
- G.C.スピヴァク（上村忠男訳）『サルタンは語る事ができるか』、みすず書房、1998。
- 辛島昇ほか編『新版 南アジアを知る辞典』、平凡社、2012。
- 古賀勝郎・高橋明『ヒンディー語＝日本語辞典』、大修館、2006。